

2018年
6月号
NO.0070

カトリック笹丘教会
教会 ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

福岡教区今年度の目標…「神のいつくしみをさらに生き、広めよう！」

政治家の為の祈り



主任司祭 遠山満

テモテへの第一の手紙の中に次のような言葉があります。「願いと祈りと執り成しと感謝とを全ての人々の為捧げなさい。王たちや全ての高官の為にも捧げなさい。私達が常に信心と品位を保ち、平穏で落ち着いた生活を送る為です」(同書2章1~2節)。今、私達はこの聖書の御言葉に耳を傾け、真剣に政治家の為に祈る必要があると思います。

昨年12月の教会ニュースで、私は「忖度」と言う言葉に触れ、この言葉の意味は決して悪いものではないことについて言及致しました。何故なら忖度するとは、人の思いを配慮することですから、それ自体は良いことです。しかしながら忖度した結果、相手の思いが不正を行う事と押し量り、そこで立ち止まることなく、相手の思いを絶対化してしまった事が、最近起こっている一連のスキャンダルの要因ではないでしょうか。

日大アメフト部の選手は、監督やコーチが「反則をするように求めている」と押し量り、それを実行に移しました。森友問題で登場している官僚は、政治家が「証拠書類を破棄するように求めている」と忖度し、それを実行に移しました。いずれも、「不正を行うように」命令されたと解釈し、それを行っています。不正を行うように命令されても、誰もそれに従う必要がないと言う事を、私達は思い返す必要があるのではないのでしょうか。

ただ、その後の処分は大きく異なります。罪を犯したアメフト部の選手は、被害者の親族の嘆願により軽い罰ですみ、監督やコーチは刑事訴追されるようです。他方、森友学園問題に関わった官僚は、誰も頼んでいないのに停職と減給という軽微な罰、監督責任のある政治家は、減給のみようです。これは一体どうなっているのでしょうか。国のレベルで大きな不祥事が生じた場合、皆、監督官庁に赴き、そこで指導を受けます。今度の事件でも、アメフト関係者が指導を受けておりました。指導をする監督官庁が、これで良いのでしょうか。「自らのやっている事について、もう少し真摯に向き合って下さい」。これは皆の思いではないのでしょうか。

いずれにしても、テモテへの手紙の中にあるように、私達は政治家の為に祈りましょう。彼らが、正常な良心を持ち続ける事ができるよう、また私達が平穏な生活を送れるよう、皆で祈って参りましょう。



自分の班を確認しよう



班	自分の住所 (地区)
1	中央区笹丘1丁目
2	中央区笹丘2～3丁目
3	中央区梅光園1～3丁目、梅光園団地、輝国、谷、六本松、草香江
4	中央区桜坂、薬院、警固、高砂、御所ヶ谷、今泉、大宮
5	中央区小笹1～5丁目
6	城南区長尾1～2丁目、笹の台団地、友泉亭
7	城南区長尾3～5丁目
8	城南区樋井川1～7丁目
9	城南区堤1～2丁目、堤団地、宝台団地
10	城南区東油山1～6丁目、油山団地
11	城南区別府1～7丁目、別府団地、城西団地、鳥飼、中央区鳥飼 早良区城西
12	城南区田島1～5丁目
13	城南区友丘1～6丁目
14	城南区神松寺、松山
15	城南区片江1～5丁目
16	城南区南片江、西片江
17	城南区金山団地、七隈、茶山、梅林、早良区梅林
18	南区長丘、西長住、長住、寺塚、高宮、平和、中央区平和、 平尾、那の川
19	南区桧原、柏原、皿山、多賀、太平寺、鶴田、野間
20	南区井尻、向野、三宅、若久団地、警弥郷、筑紫丘、横手、市崎
21	早良区藤崎、飯倉、原、飯場、室見、百道、有田団地、 城南区飯倉、荒江、中央区大名、大手門、荒戸、舞鶴、長浜
22	早良区野芥、早良、干隈、四箇田団地、室住団地、内野、東入部 小田部
23	西区福重、生の松原、姪の浜、今宿、内浜、吉武、石丸、野方 糸島市
24	博多区全域、東区全域、春日市、太宰府市、筑紫野市、朝倉市 朝倉郡、筑紫郡 (2018.10.1.より那珂川市)、糟屋郡

カトリック笹丘教会 拡大信者会 議事録（抜粋）

日時：2018年6月3日（日） 11:45～13:00 信徒会館ホールにて

†初めの祈り・・・主の祈り

議 題

信徒会長より

1. 連絡網について

(1) 現状について

- ・2015年より、電話以外に、メール、FAXでも連絡を回すようにしている。それぞれ、76名、61名、24名。
- ・メールで連絡を回している人で、氏名が分からない人がいる。
- ・メールが届かない人は、そうと知らず受信拒否設定になっているかもしれない。
- ・電話連絡が来ていない人もいる。
- ・昨年、班内人数を調整するため班構成の変更があった。
- ・連絡員、班長、副班長がはっきりしない班がいくつかある。
- ・現在、班活動は日曜10時ミサ後の掃除だけ。

(2) 今後の取り組み

- ・班内の関係を密にするため、日曜10時ミサ後の掃除の後、当番班ごとにお茶を飲みながら班会を行うことを提案したい。再来週くらいから、やってみる予定。
- ・班長が決まっていない班は役員が入り、班構成を確認しながらやっていく。
随時、話し合いながらやっていく予定。

意見として

- ・転入された方には、いきなり掃除をお願いするより、班の集まりの方が入りやすいと思う。
- ・昔は、班ごとに家庭で集まりをしていたが・・・。

主任司祭より

1. ミサの時間について

(1) 現状について

- ・現在、日曜日の主日ミサは8時と10時で2時間の空きがあるが、活動や準備のためにもう少し時間が欲しい。教区内で日曜日の主日ミサが2回あるところは、ミサの間隔が2時間半か3時間空いている。
- ・10時ミサは参加者も多く、10時ミサ後に行事や活動が多いので、10時を変更するのは難しい。

(2) 提案

- ・8時ミサを、7時半に変更したい。
- ・教会学校の時間も関係してくるが・・・。 ・アンケートをとることも考えている。

意見として

- ・アンケートをとるといろいろな意見が出て混乱するので、この場で採決を取って決めてもいいのでは？
- ・8時ミサに来ている人(8時ミサにしか来れない人?)やオルガニストにも意見を聞くべきでは？
- ・8時ミサに来ている人は、バスで来ている人もいるので、バスの時間も関係してくる。(日曜日早朝は、バス本数が少ない)
- ・1回だけでなく数回、提案を「お知らせ」に掲載、7月くらいからアンケートを配布して、意見箱に入れてもらい、決めてはどうか？
- ・教会学校の子どもたちで、自分で来ている子は変更してもあまり影響ないが、親が連れてきている子どもたちには影響があるかもしれない。塾に行っている子は8時ミサに与るが、他の子どもたちは、9時から教会学校の後、10時ミサに与っている。
- ・教会学校開始は、(これまで通り) 9時からで問題ない。
- ・いったん提案を投げかけて意見を聞くのは、周知徹底するために必要なこと。納得してもらうため。

2. 聖体礼拝について

主任司祭より

(1) 提案

- ①現在、水曜日に行なっている聖体礼拝(ロザリオの祈りと聖体降福式、第2水曜はテゼの祈り)を、8月から金曜日に変更予定。
- ②毎月第3日曜日の10時ミサ後に、聖体礼拝をすることを提案したい。
共同体として静かな時間を持つため。第3日曜日の10時ミサ後は行事等が少ない。
・ロザリオをミサ前にして、聖体礼拝はミサ後にしてもよい。

意見として

- ・昔は、ミサ後に聖体降福式が行われていたが、行われなくなったのは、第2バチカン公会議後、ミサを重視し、ミサ後、(それぞれの場所に)派遣されていくことを大切にするようになったから。よって、ミサの後に行なうべきではないと思う。・ミサの前にしてはどうか。
- ・ミサ前にするなら第3日曜日でもよい。

3. 今後の予定

- 7/1(日) 劇「捨てがたき宗旨故」DVD 上映会(10時ミサ後、コーヒーコーナーと共に。)
- 7/8(日) 拡大信者会

*第一「拡大信者会」と第二「コーヒーコーナー」の開催日を七月に限って入れ替える。

† 終わりの祈り・・・アベ・マリアの祈り



ルカ後藤勝彌

より大きな活躍の場を求めて、広島県の福山市にある脳卒中の先進的な取り組みをしているので有名な病院に移ったのは21世紀の初めの年でした。福山は井伏鱒二の「黒い雨」の舞台となった所で、今なお多くの被爆者が暮らす土地ですが、この町でも福岡同様、核の支配する世界情勢に対する若者の関心が薄いことに愕然としました。20世紀は恐るべき大量殺戮の時代でしたが、その反省に立って人類は21世紀を協調と平和の時代にするだろうといわれたものです。しかし、すぐに世界情勢は期待とは逆の方向に向かっていることが明らかとなりました。その頃から、私は常に考えるようになったのです。若者が読んでくれるような広島と長崎を結ぶ物語が書けないかと。その思いは、10年近く経ってそろそろ故郷に帰ろうかと考え始めた年の真冬に福山市の隣町にある三原城の前にある26聖人の一人、トマス小崎少年の銅像の前に立った時に形をとり始めました。そして次から次へとインスピレーションが与えられたこともあって、「広島に生きる崩壊家庭の少年がトマス小崎少年の霊に導かれて長崎に行き、障害を持った2人の年長者の助けを得て1年間の学びの時を過ごし、生まれ変わる」という復活の物語に結実しました。下巻のヒーローは長崎の伝説・金鍔です。金鍔に関してはアウグスチノ会から出版された資料を今田司祭に読ませていただいて、イメージを膨らませました。「長崎飛翔」と題したこの本を2011年に上梓すると、浦上出身の森山勝文司祭はオリエンス研究所の福音宣教2012年8・9号の「この一冊」というコラムに“私がまとめようと考えていた課題が小説という形式で取り組まれていたので、一気に読んだ”と取り上げて下さり、“人生の視点や今日の日本が取り組むべき課題をしめしている”“長崎に巡礼と称して旅する人も多いが、この本を読んで旅してほしいと思う”と有難い言葉をくださいました。しかし、世間的にはほぼ無視された形です。日本で話題にならなければ外圧を加えるしかないと思考した私が、広島原爆資料館の理事長スティーブン・リーパーさんの奥さんでプロの翻訳家であるエリザベスさんの助けを借りてオンライン出版したこの本の英語版 Nagasaki Redemption を読んだ UCLA 留学時代の教授は、その年のクリスマスカードに「続けて2回読んだ」と書いてよこし、「多くのアメリカ人がこれを読むことを望んでいる」とまで言ってくれました。

長崎飛翔は残りが1部もなくなったところで改訂版を出す事を考えるようになりました。陳腐化していないかに注意して最近読み返してみましたが、世界情勢はますます戦争に傾斜しており、第3次世界大戦前夜という雰囲気さえなっている昨今、こういった本の存在価値は高まっていると判断しました。改訂作業にあたっては英語版を叩き台として、簡潔でリズム感のある表現を心がけました。筋の複雑な小説に見えますので、章ごとに付けていたサマリーも簡潔化して上下2巻で取り上げている主要なテーマの対称性が際立つように構成しました。それで、すべてが収斂していくさきにあるものが容易に理解できるようになったものと思います。【おわり】*次ページに関係記事がつづく



信仰のルーツにつづく・・・広報委員からのお知らせ

寄稿、誠にありがとうございました。後藤氏の著書を広報委員からも推薦したいと思いません。また、「長崎飛翔 上・下」【初版】に対しては、以前の主任司祭でしたドワイヤ神父様の熱い応援メッセージいただいています。現在の【改訂版】は、出版に向けて発行所を模索中です。今一度「平和な世の中」を考えるために「長崎飛翔【改訂版】」が出版された暁には是非一読いたしましょう。参考のためにドワイヤ神父様の推薦状の一部をご紹介します。

ドワイヤ神父様の推薦状 一部抜粋

彼（後藤氏）は原爆の悲劇と長崎の殉教の話をつなぐ物語を書いていると語ったのです。この小説ではフラッシュバックの手法を使って、この2つの出来事を見事に結びつけるのに成功しています。アウグスチノ会の司祭トマス・次兵衛・金鍔の物語はこの物語はこの小説のハイライトです。秀吉の禁教令によって使徒的な活動に従事していた一族が長崎県の大村で殉教を遂げたあと、フィリピンに渡って、叙階されたトマス司祭は危険を冒して長崎に潜入します。散らされた羊の群れのようにになっていた信徒を司牧するために、神出鬼没の大活躍をして長崎奉行を翻弄する金鍔でしたが、やがて囚われて、この上なく長い拷問を受ける間に幻視した封建体制から軍国日本での教会の辿る運命と原爆の悲劇への道が、極めてヴィジュアルに描かれています。一連のフラッシュバックの中で、彼（後藤氏）は読者を原爆投下の惨劇から禁教令の時代まで、そして禁教令の時代から原爆投下の惨劇まで、自在に誘います。後藤医師は若い読者の興味を引き、小説に彩りを付ける為に彼の医師としての専門領域である高度先進医療を舞台としても居ます。そこに登場する崩壊家庭の少年が社会復帰を果たす物語がこの小説を貫く縦糸ですが、そこには日本の近代化で辿った過ちが克明に描かれています。これは極めて壮大な物語です。

大きな喜びを持って、私はこの小説を推薦します。皆さん、どうか後藤医師のこの本を楽しんで下さい。

2012/05

Thomas P. Dwyer, OSA

以上

編集後記



超高齢社会に向けて、高齢者の見守りや話し相手になるAIの進歩もめざましいようだ。顔を覚え名前を呼んでくれ、会話のやり取りも自然なコミュニケーション能力も備えてきているらしい。

別の日のNHKの番組では、健康長寿のためには、運動や食事よりも「人とのふれあいやつながり」が一番大事だという研究結果が出たそうで、とても意外だった。

AIとのふれあいやつながりが、「人」と同じような効果をもたらしてくれるのだろうか？私が超高齢者になった時にはその研究結果もわかるかもしれない。 We will see.

(F.K)